



2023_1Q | Result

株式会社スノーピーク [証券コード：7816]

Mission Statement

The Snow Peak Way



私達スノーピークは、
一人一人の主体性が最も重要であると自覚し、
同じ目標を共有する真の信頼で力を合わせ、
自然指向のライフバリューを提案し実現する
グローバルリーダーになろう。

私達は、常に進化し、革新を起こし、
時代の流れを変えていきます。

私達は、自らもユーザーであるという立場で考え、
お互いが感動できる体験価値を提供します。

私達は、地球上の全てのものに
良い影響を与えます。

INDEX

- ① 2023_1Q 決算概要
- ② ハイライト
- ③ Appendix

FY2023_1Q 決算概要



エグゼクティブサマリー

業績

- FY2023.1Qの連結売上高は前年同期比8.5%減、営業利益は同72.5%減
- 通期業績予想は変更なし

日本

- 直販チャンネルは前年同期を上回る水準で推移
- 卸売チャンネルは新商品・戦略商品の納品は進むも、一部在庫調整に遅れ

海外

- 欧米では、引き続き卸売先の在庫調整の状況に注視
- 韓国では、アパレル販売が好調であり、売上伸長を牽引
- 中国では、卸売先候補各社と契約締結に向けて交渉中

FY2023_1Q 決算概要 | 連結業績概要 (対 前年同期実績)

- 前年同期比減収減益、売上高は前年同期比8.5%減
- 売上総利益は56.3%と、前年同期比3.0pt上昇

第1四半期

単位：百万円	FY2022 実績	FY2023 実績	前年同期比	
売上	7,084	6,479	▲ 604	▲ 8.5%
売上原価	3,309	2,834	▲ 474	▲ 14.3%
売上総利益	3,774	3,644	▲ 129	▲ 3.4%
売上総利益率	53.3%	56.3%		+ 3.0pt
販管費	2,839	3,387	+ 548	+ 19.3%
営業利益	935	257	▲ 678	▲ 72.5%
営業利益率	13.2%	4.0%		▲ 9.2pt
税前当期純利益	972	353	▲ 619	▲ 63.7%
当期純利益 [※]	642	245	▲ 396	▲ 61.7%
当期純利益率	9.1%	3.8%		▲ 5.3pt

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

FY2023_1Q 決算概要 | 販売費及び一般管理費（対 前年同期実績）

- 販管費は前年同期比548百万円の増加
- ベースアップによる人件費増加のほか、地代家賃や減価償却費の増加

第1四半期

単位：百万円	FY2022	FY2023	前年同期比	
人件費	1,270	1,509	+ 239	+ 18.8%
地代家賃	212	243	+ 31	+ 14.7%
減価償却費	206	244	+ 38	+ 18.4%
発送配達費	201	222	+ 20	+ 10.2%
備品消耗品	139	185	+ 45	+ 32.8%
販売促進費	101	100	+ 0	▲ 0.7%
広告宣伝費	89	106	+ 16	+ 18.5%
旅費交通費	38	64	+ 26	+ 66.8%
販管費	2,839	3,387	+ 548	+ 19.3%

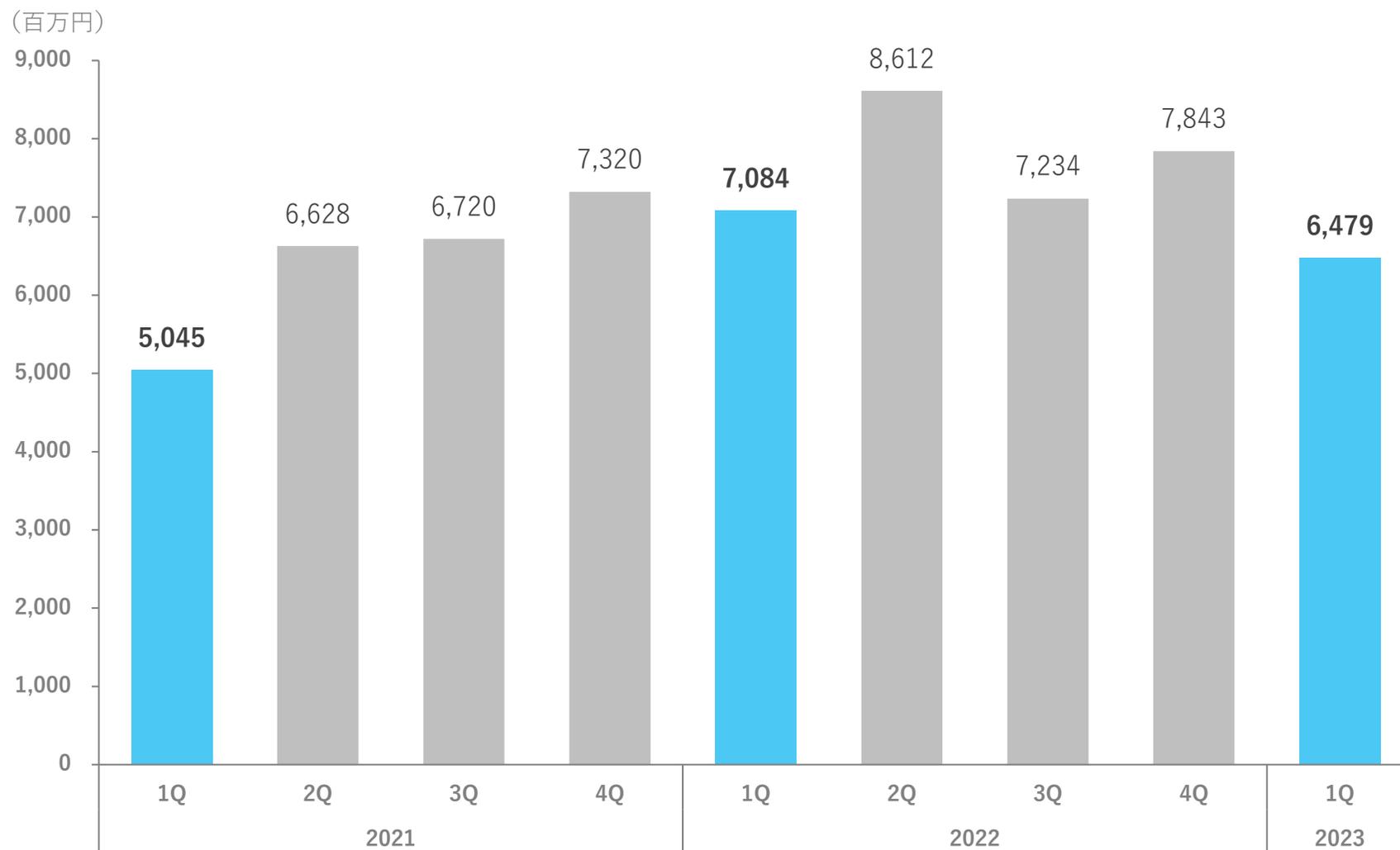
FY2023_1Q 決算概要 | 連結BS概要

- 棚卸資産は前期末比2,433百万円の増加
- 有利子負債は前期末比996百万円の増加

単位：百万円	FY2023		FY2022 4Q	前期末比	
	1Q	構成比			
総資産	32,120	100.0%	30,733	+ 1,386	+ 4.5%
流動資産	17,855	55.6%	16,669	+ 1,186	+ 7.1%
棚卸資産	8,987	28.0%	6,553	+ 2,433	+ 37.1%
固定資産	14,264	44.4%	14,064	+ 200	+ 1.4%
流動負債	11,039	34.4%	9,149	+ 1,890	+ 20.7%
固定負債	5,823	18.1%	6,327	▲ 503	▲ 8.0%
有利子負債	10,170	31.7%	9,174	+ 996	+ 10.9%
純資産	15,257	47.5%	15,257	+ 0	▲ 0.0%
自己資本比率	46.7%		48.8%		▲ 2.1pt
D/Eレシオ	0.67x		0.60x		+ 0.07x
ネットD/Eレシオ	0.35x		0.25x		+ 0.10x

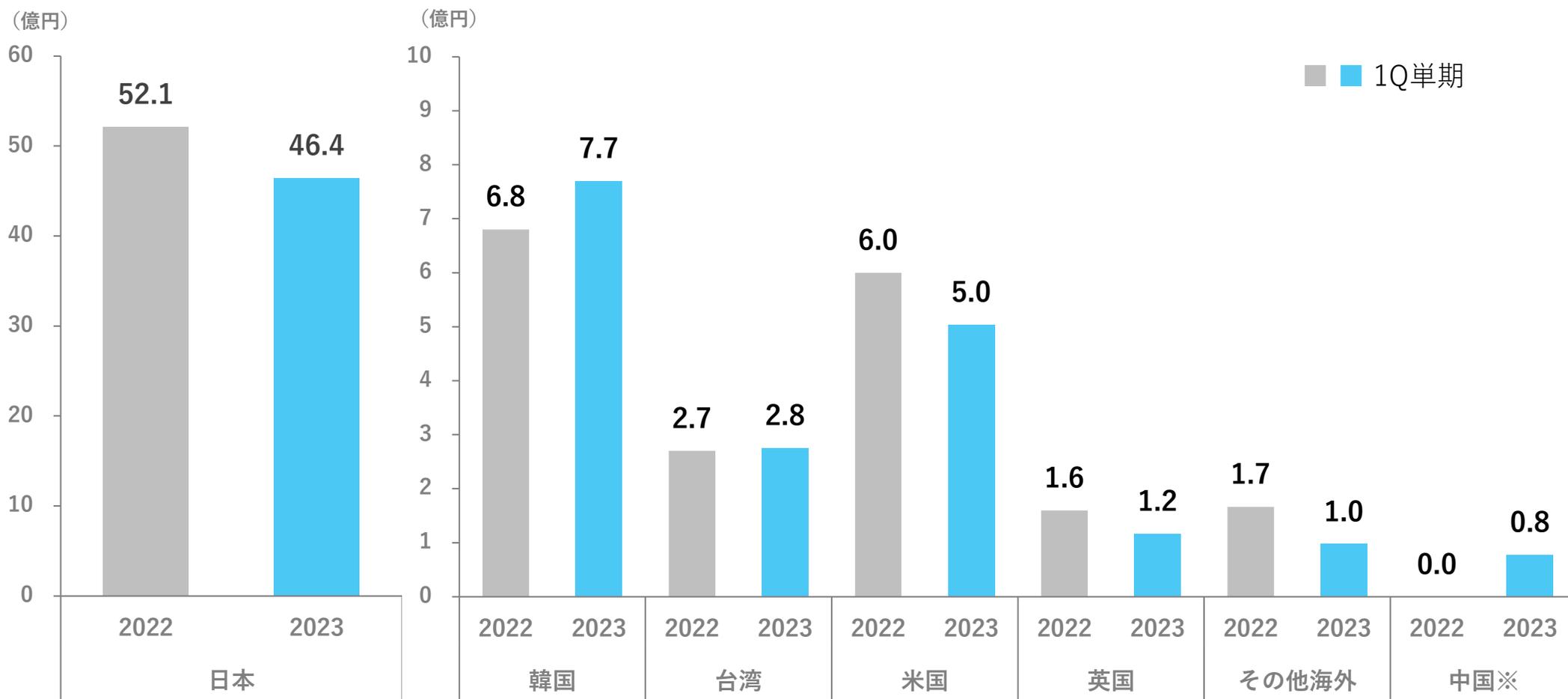
FY2023_1Q 決算概要 | 連結売上高 四半期推移

- 1Qはキャンプオフシーズンのため、トレンドとしては例年通り
- 2023年1月11日以降、値上げの反動減も一部見られた



FY2023_1Q | 売上高 拠点別

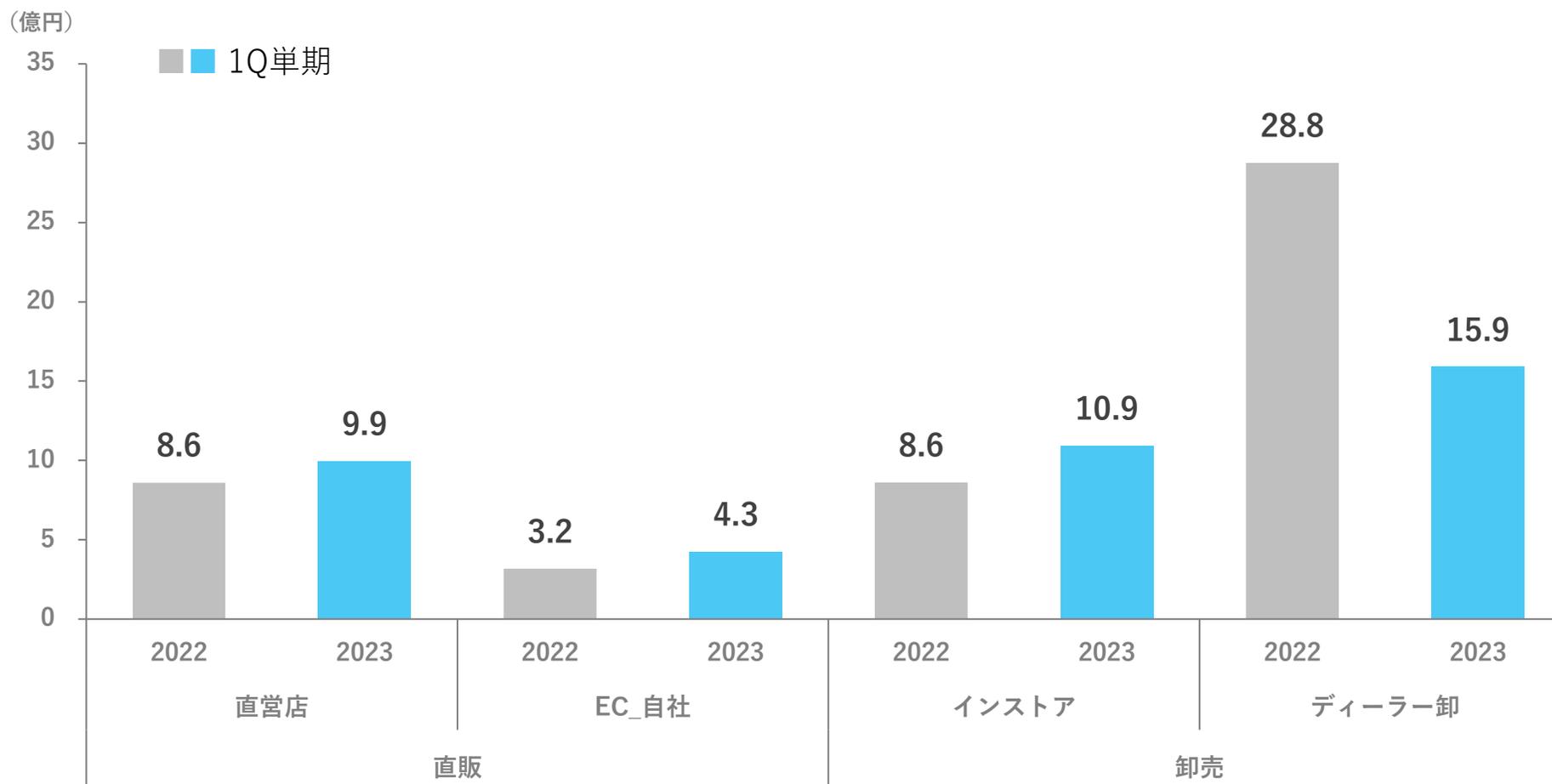
- 日本は前年同期比11%減ではあるものの、当初想定通りの進捗
- 韓国はアパレル商品の販売好調も寄与し、前年同期比13%増加
- 流通在庫の状況及びディスカウント販売が続く米国をはじめ、英国、その他海外は前年同期を下回る



※ 中国拠点設立前につき、2022年売上高は韓国に含む

FY2023_1Q | 売上高 販売形態別：日本

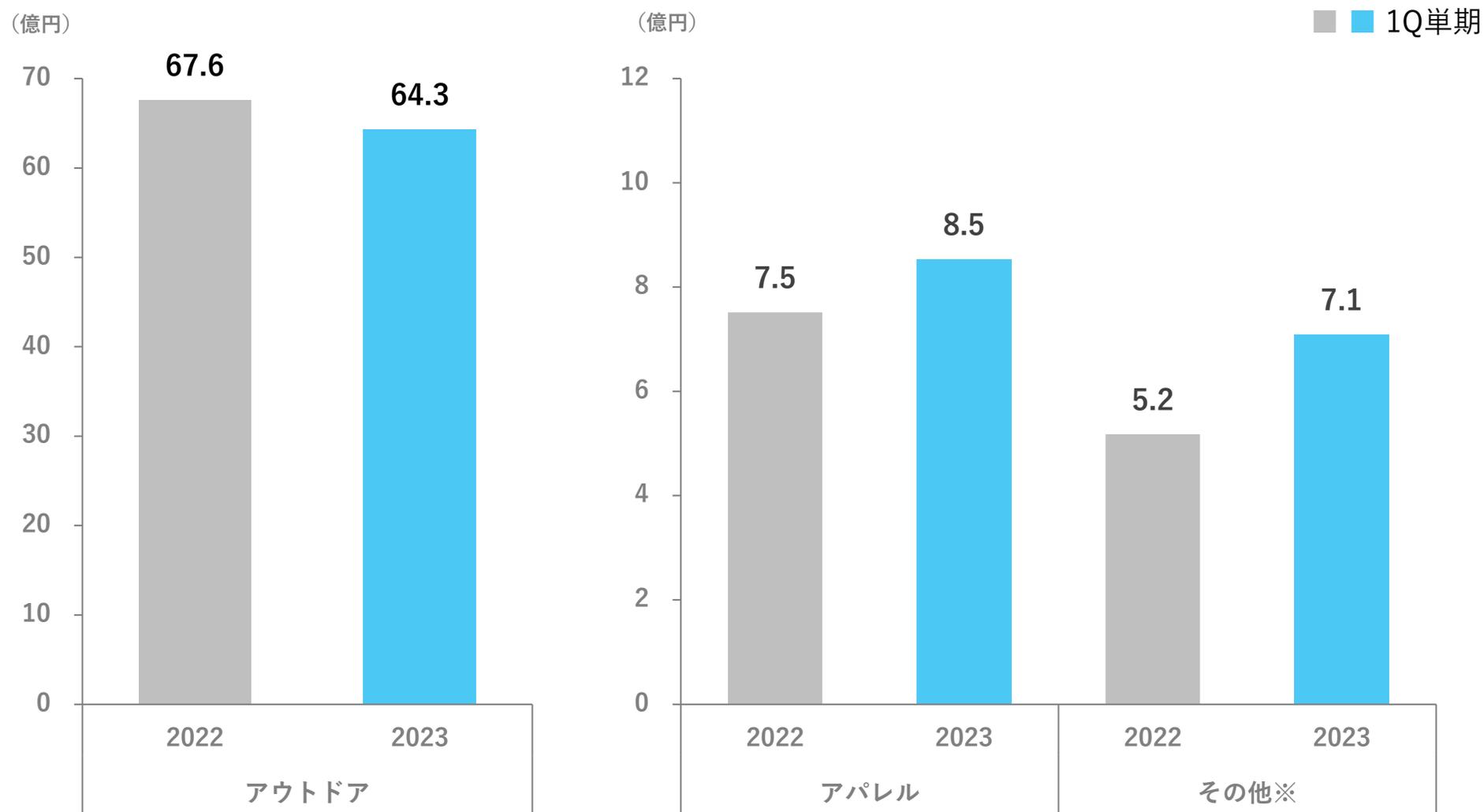
- 直販チャンネルのうち、直営店は来店客数・レジ客数ともに増加し前年同期比で増加
- 卸売チャンネルでは、当社スタッフが常駐するインストアは前年同期比増加の一方で、一部卸売先の在庫正常化の遅れによりディーラー卸が前年同期を大きく下回る



※ 「ディーラー卸」売上高は「EC_卸」売上高を含む
 ※ スノーピーク単体の売上高から、海外への売上、子会社への卸売上を控除した数値
 ※ 各販売形態の売上は、収益認識会計基準に基づき計上される自社ポイント及び製品保証に関する売上の影響を反映する前の数値

FY2023_1Q | 売上高 事業別

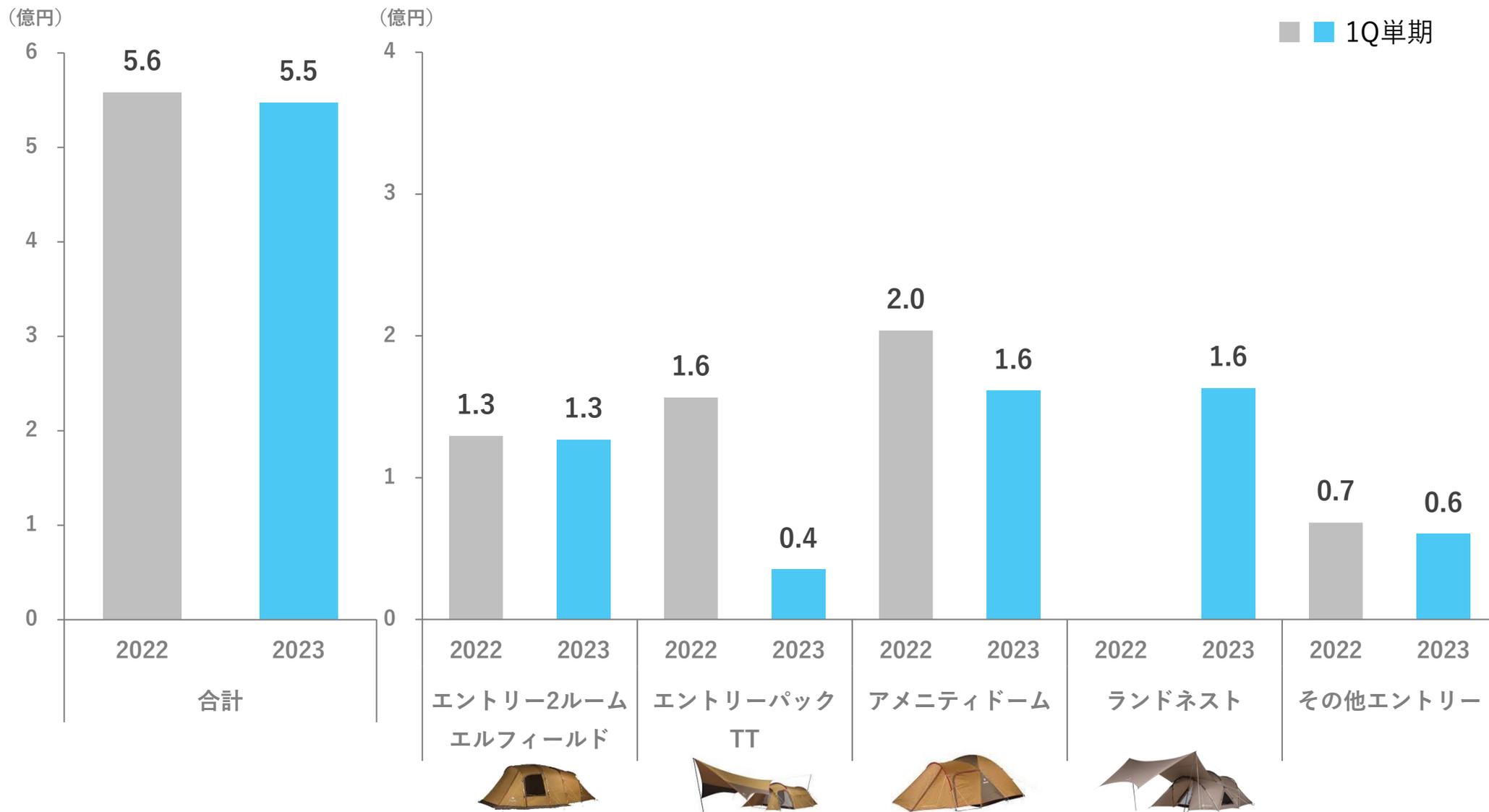
- アウトドア事業は前年同期を若干下回るも、アパレルは前年同期比14%増



※その他は、キャンプフィールド/Snow Peak Eat/アーバンアウトドア/地方創生コンサルティング/ビジネスソリューションズの売上の合計
スノーピークグループ向けの売上を含む数値のため、数値の合計は連結売上高の数値とは一致しません。また、2022年実績が過去の開示と一致しない場合があります。

FY2023_1Q | 売上高 エントリー商品

- エントリー商品合計では、前年同期比98%とほぼ同水準
- エントリーラインの新モデル「ランドネスト」(4/1販売開始)は好調スタート



※ セット販売の売上を含む。また、対象とするエントリー商品の見直しにより、2022年度実績を一部変更

ポイント会員数の推移：日本

- ポイント会員の会員数は80万人を突破

スノーピークポイント会員数

80.9 万人

※2023年3月31日時点

約1万人/月
ペースで増加



店舗数の状況

	販売形態	店舗形態	販売員	店舗数※
直 販	直営店	 リアル店舗 40-150坪	 弊社スタッフ	日本 32 海外 10
	EC_自社	 オンライン	 弊社スタッフ	—
卸 売	EC_卸	 オンライン	 取引先スタッフ	Amazon.com 他
	インストア	 リアル店舗 30坪 占有売場	 弊社スタッフ	日本 73 海外 0
	ショップインショップ	 リアル店舗 15坪 占有売場	 弊社研修を受けた 取引先スタッフ	日本 227 海外 29
	エントリーストア	 リアル店舗 3坪 占有売場	 弊社研修を受けた 取引先スタッフ	日本 246 海外 4

※ 2023年3月31日時点

海外展開の状況

	国・地域	展開製品カテゴリ	事業拠点	店舗	EC	会員システム
アジア	日本	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア製品 ・アパレル製品 ・アーバンアウトドア製品 	○	○	○	○
	韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア製品 ・アパレル製品 ・アーバンアウトドア製品 	○	○	○	○
	台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア製品 ・アパレル製品 	○	○	○	○
	中国	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア製品 	○	○ 卸売り拠点のみ	中国最大のECモールTmallに 旗艦店出店	(準備中)
欧米	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア製品 ・アパレル製品 	○	○	○	(準備中)
	英国・EU	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア製品 ・アパレル製品 	○	○	○	(準備中)
その他	25ヶ国で 製品流通	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア製品 ・アパレル製品 	-	○ 卸売り拠点のみ	-	-

お知らせ | 月次開示内容の変更について

- セルアウトの情報をより正確にお伝えするため、月次売上状況のご報告内容を5月度（6月中旬開示予定）より変更いたします

これまで

国別（一部地域別）売上高 前期比（％）
日本
米国
中国・韓国
台湾
英国（EU含む）
その他海外
連結合計

販売形態別売上高（日本） 前期比（％）
直営店
EC自社
直販チャンネル合計
卸売・その他

店舗数推移（日本）
直営店
インスタア
ショップインショップ
エントリーストア

5月度の開示（6月中旬開示予定）以降

開示を終了

販売形態別売上高（日本） 前期比（％）
直営店
EC自社
直販チャンネル合計

店舗数推移（日本）
直営店
インスタア
ショップインショップ
エントリーストア

ご参考 | 売上高 拠点別前期比推移

単位 (%)	2022年												2023年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本	155.5	131.8	114.2	125.9	135.3	105.7	91.7	89.7	98.1	94.4	94.8	129.0	101.5	70.7	90.1
米国	229.6	179.9	130.2	148.1	195.4	217.3	110.6	159.6	164.8	132.7	112.2	85.1	86.9	72.7	92.0
中国・韓国	206.9	210.0	172.6	146.7	142.1	177.8	203.6	180.9	130.4	141.0	140.0	129.6	114.3	115.9	129.4
台湾	125.6	182.0	167.8	108.8	156.7	155.3	153.3	138.3	170.5	116.1	104.6	169.8	99.1	104.8	97.7
英国 (EU含む)	233.0	216.9	137.5	167.6	139.6	123.1	124.4	144.2	158.4	71.1	98.5	122.9	27.0	75.4	98.4
その他海外	143.2	202.5	126.0	133.2	134.0	139.0	42.6	569.1	149.5	85.2	49.4	37.6	48.3	94.4	44.5
連結合計	163.1	144.0	122.6	129.8	141.9	121.3	101.9	110.1	110.5	101.5	100.2	122.4	99.2	76.6	93.8

ハイライト



ビジネスハイライト | 滋賀県長浜市と包括連携協定を締結

- 2023年2月21日に当社は滋賀県長浜市（市長：浅見宣義）と地域活性化に向けた包括連携協定を締結。
- 今回の連携はスノーピークが取り組んでいる地方創生の一環であり、地方自治体等との包括連携協定締結は26例目。

1. 協定の目的

本協定は、長浜市及び株式会社スノーピークが、包括的な連携の下、多様な分野で相互に協力し2者の資源を有効に活用した取組を推進することにより、地域の活性化に資することを目的とする。

2. 協定で定める連携項目

1. 地域振興に関すること。
2. 自然環境の活用及び保全に関すること。
3. 文化・産業・観光振興に関すること。
4. 地方創生に関すること。
5. 関係人口の創出に関すること。
6. SDGsの推進に関すること。
7. 防災及び災害支援に関すること。
8. その他目的達成のため必要とすること。



ビジネスハイライト | リユース事業新会社を設立

- 人と製品をより良く繋ぐ、循環型経済の実現に向けてスノーピーク製品のリユース事業を目的とする新会社を設立。
- スノーピークのテントやタープなどキャンプギア製品のリユース事業を通して、製品の単なる売買ではなく、ユーザー様から新しいユーザー様へ、「製品」と「製品への想い」を繋ぐ。

新会社の概要

名称 株式会社スノーピークサーキュレーションコア

所在地 福井県福井市

代表者 代表取締役会長 山井 太
代表取締役社長 中上 久範

事業内容 リユース事業

資本金 5,000万円（当社100%出資）

設立日 2023年4月1日



ビジネスハイライト | Snow Peak 白河高原 (4/15開業)

- 東北地方初となる直営店「スノーピーク白河高原」を4月15日に開業。
- 複合リゾート「エンゼルフォレスト白河高原」内のストアは、釣具とアウトドア用品の企画・輸入・販売を手掛ける株式会社ティムコとのコラボショップであり、キャンプをしながら釣りを楽しむという新たなアウトドアスタイル『CAMP FISHING』を提案。
- 直営キャンプフィールド「スノーピーク白河高原キャンプフィールド」も2023年7月に開業予定。



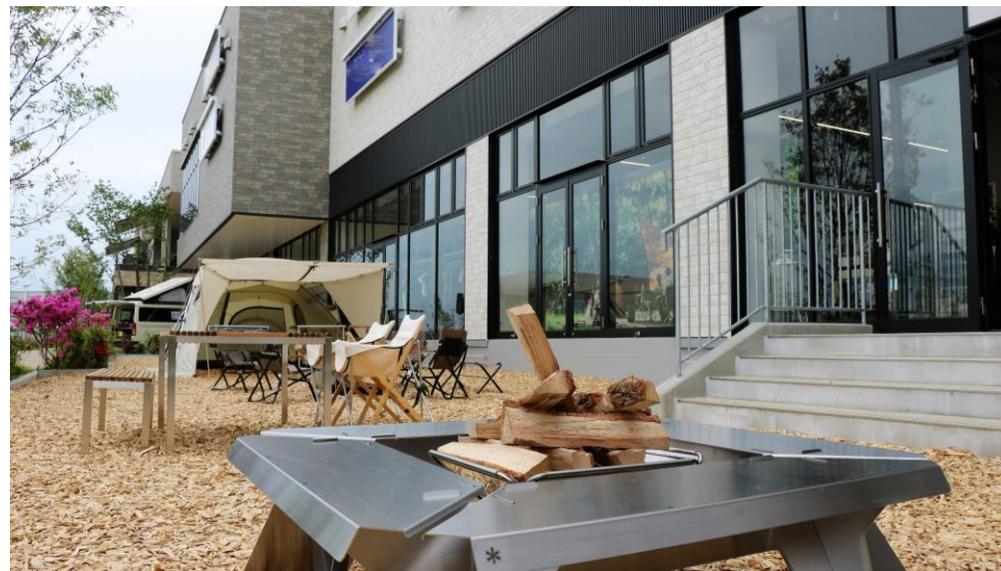
ビジネスハイライト | Snow Peak 油山福岡（4/27開業）

- スノーピークとして初のフランチャイズ運営にて、キャンプフィールドを併設したストア「Snow Peak ABURAYAMA FUKUOKA」を4月27日に開業。
- 「Snow Peak ABURAYAMA FUKUOKA Campfield」は、福岡の街並みや夜景を一望できる場所でありながら、福岡の中心市街地から車で30分という立地で街から最も近いキャンプフィールド。
- 2020年10月に包括連携協定を締結した九州旅客鉄道株式会社の100%出資子会社「JR九州リージョナルデザイン株式会社」とのフランチャイズ契約にて開業するもので、スノーピークとしては初の取り組み。



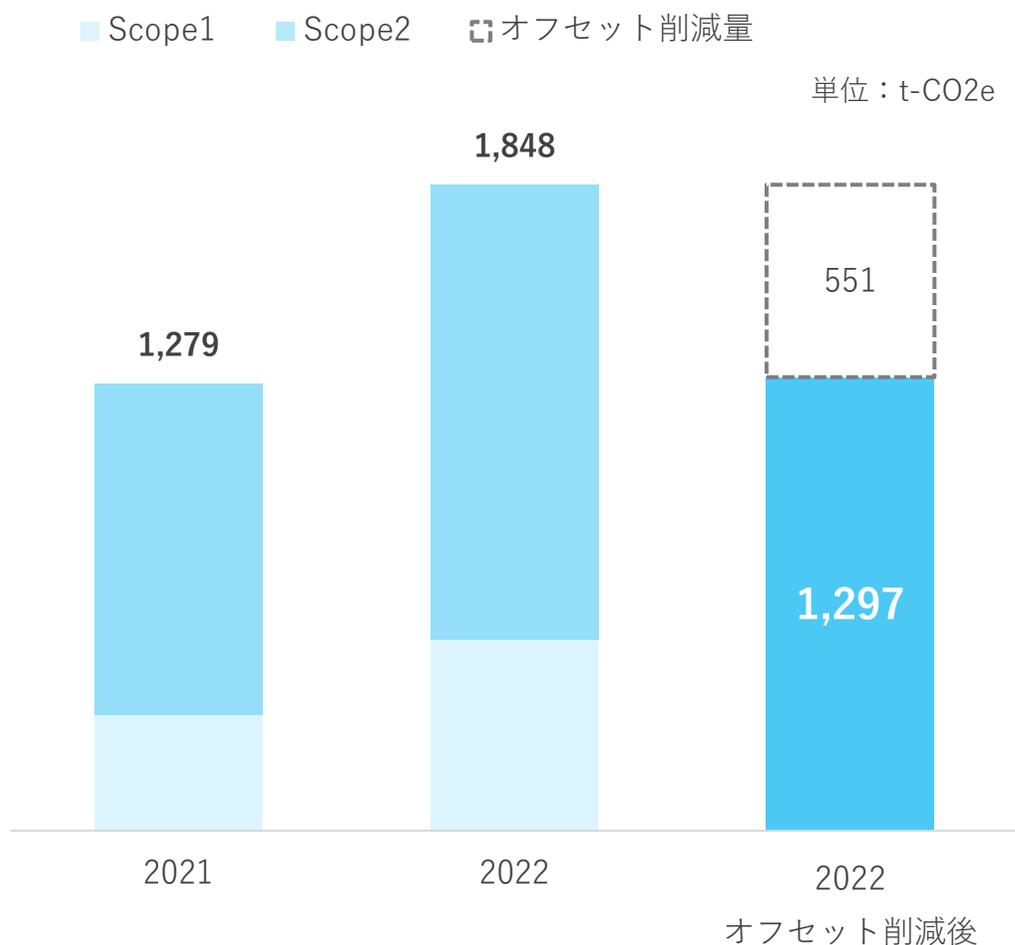
ビジネスハイライト | Snow Peak THE OUTLETS湘南平塚（4/28開業）

- 関東エリア最大級の売り場面積となる直営店「Snow Peak THE OUTLETS SHONAN HIRATSUKA（スノーピーク ジ アウトレット湘南平塚）」を4月28日に開業。
- 165坪の店舗面積を活用し、テントやタープなどを複数展示できるため、大きさや高さなどを直接ご覧いただけます。また店舗に隣接する専有広場ではテントの設営講習やペグ打ち体験などのアウトドア体験ができるほか、キャンプの醍醐味である焚火を体験できるイベントなどの開催も予定。



非財務ハイライト | TCFD提言に沿った情報開示

- 2022年度の温室効果ガス排出量実績を開示。
- 今後は削減目標を定め、引き続きカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進し、気候変動対策を強化・加速。



温室効果ガス排出量実績と取り組み

- 主要拠点の使用電力を再生可能エネルギーに転換し、CO2排出量を大幅に削減
- 一方で、SPAの開業や海外の新設拠点の稼働開始により排出量増加（再生エネルギー電力への切替検討中）
- 総排出量は2021年度比569t増加（144%）
- オフセット削減後最終排出量は2021年度比18t増加（101%）

Appendix



About Snow Peak | 会社概要

会社名 株式会社スノーピーク Snow Peak, Inc.

本社所在地 Headquarters 新潟県三条市中野原456

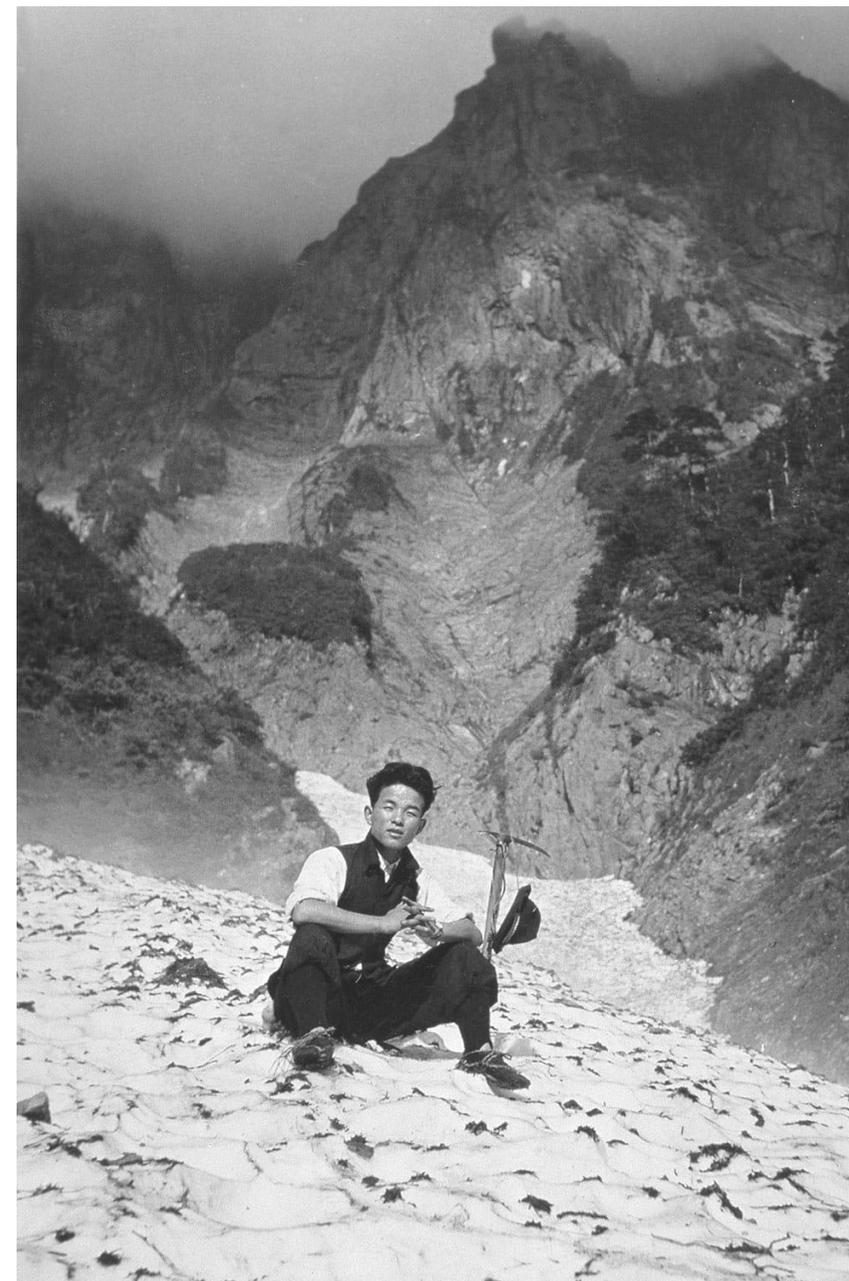
設立 1958年7月

資本金 27億7,931万円

拠点 スノーピーク Operation Core HQ2 (新潟県見附市)
Snow Peak Tokyo HQ3 (東京都渋谷区)
Snow Peak USA Headquarters (Global HQ4) (米国)

事業内容 アウトドア製品の開発・製造・販売
アパレル製品の開発・製造・販売
アーバンアウトドア事業
キャンピングオフィス事業
地方創生事業
グランピング事業

上場市場 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：7816)



About Snow Peak



新潟県燕三条発の アウトドアブランド

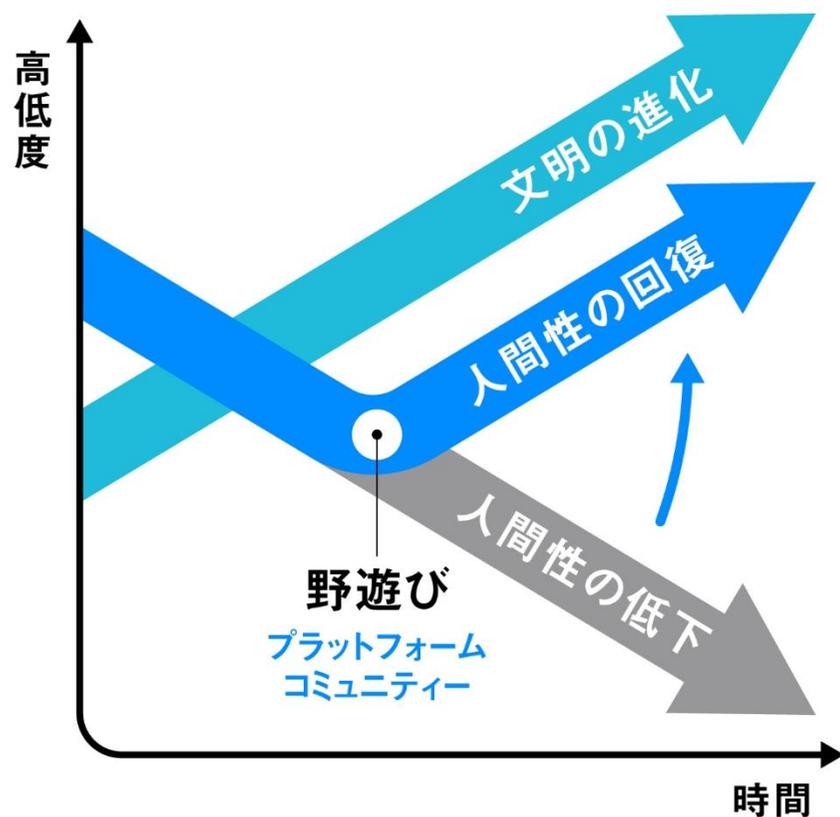
燕三条が誇る金属加工技術を背景に機能的で、美しく、頑丈なアウトドアギアを次々と世に送り出し、日本のアウトドアシーンを牽引。

About Snow Peak | 社会的使命

人間性の回復と、自然指向のライフバリューの提供

キャンプが持つ力

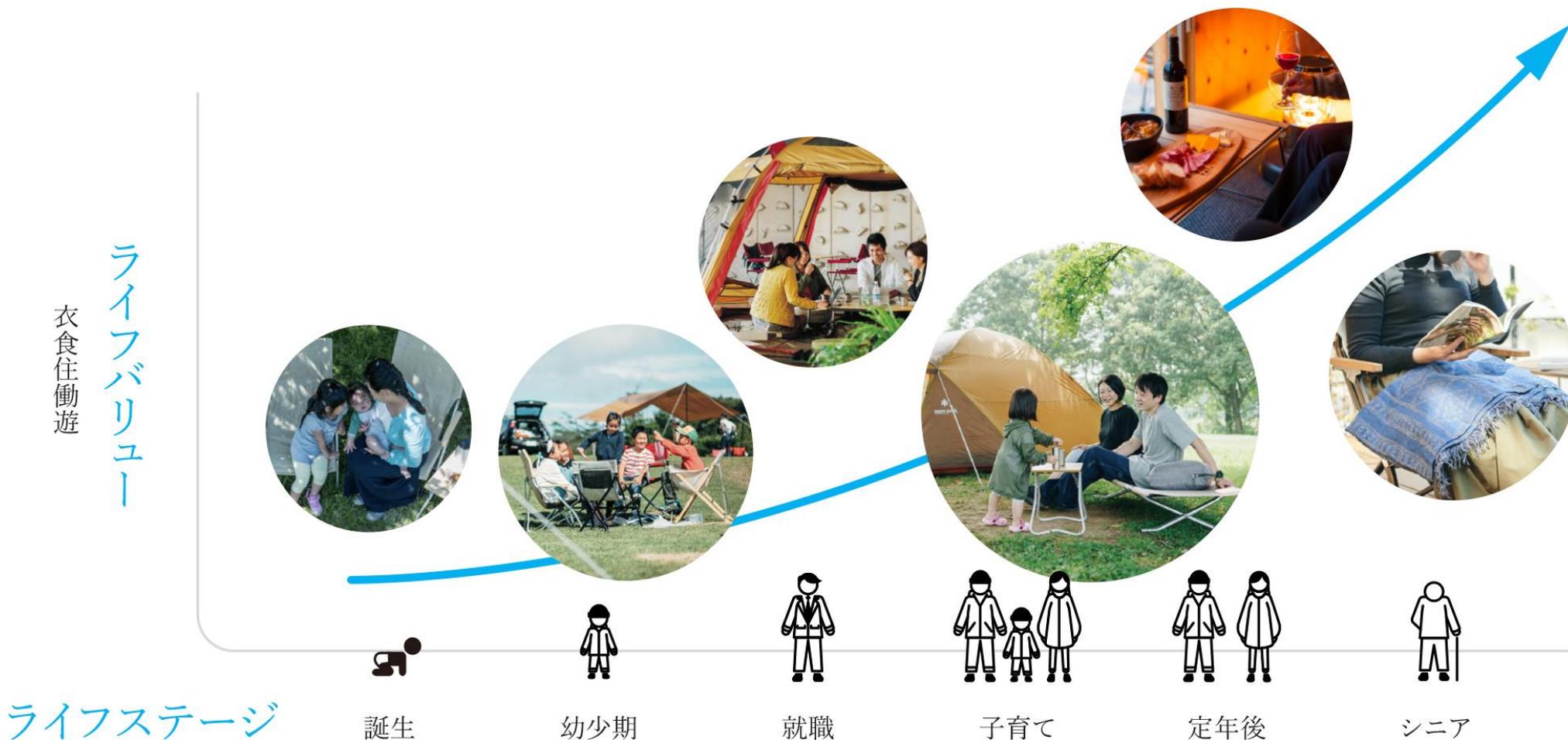
=人間性を回復させて人と人のつながりを生み出す力を人生のすべての時間に広げる



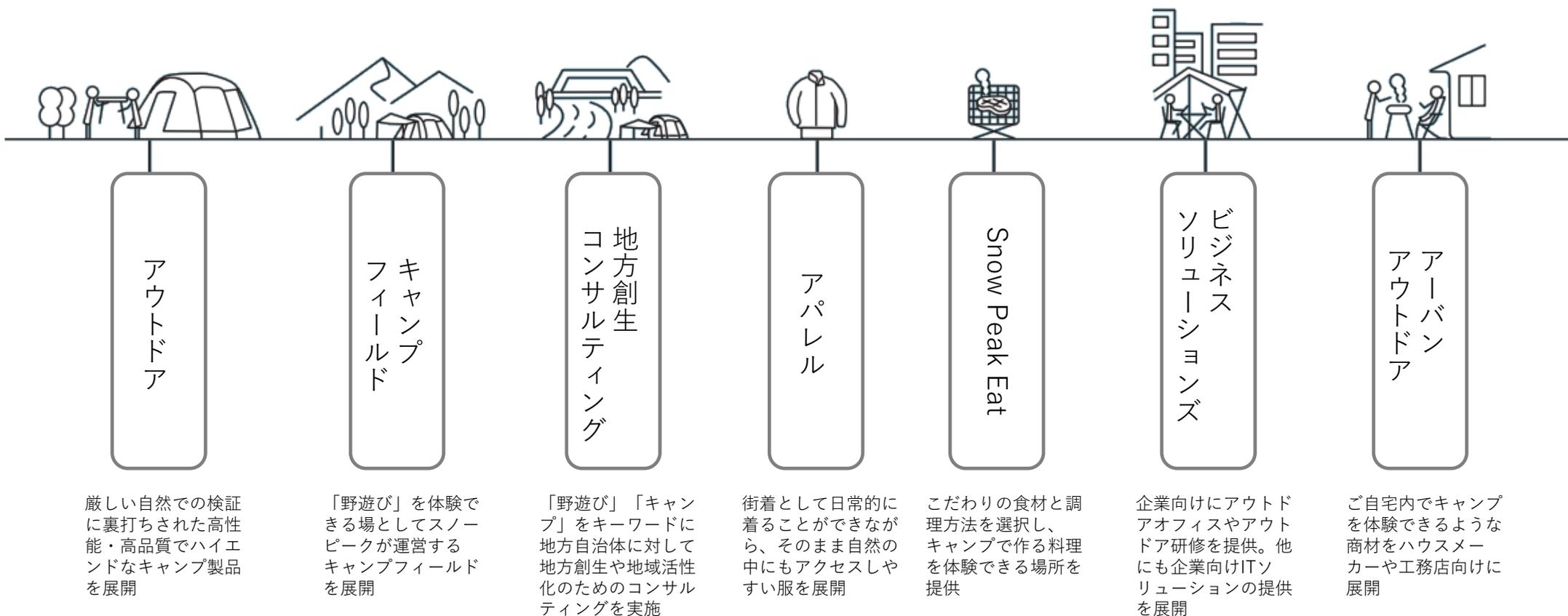
About Snow Peak | スノーピークが提供するライフバリュー

私たちは**キャンプの力**を信じています

『衣食住働遊』を通じて自然指向のライフバリューを**すべてのライフステージ**へ提供



About Snow Peak | 事業領域



遊働住食衣

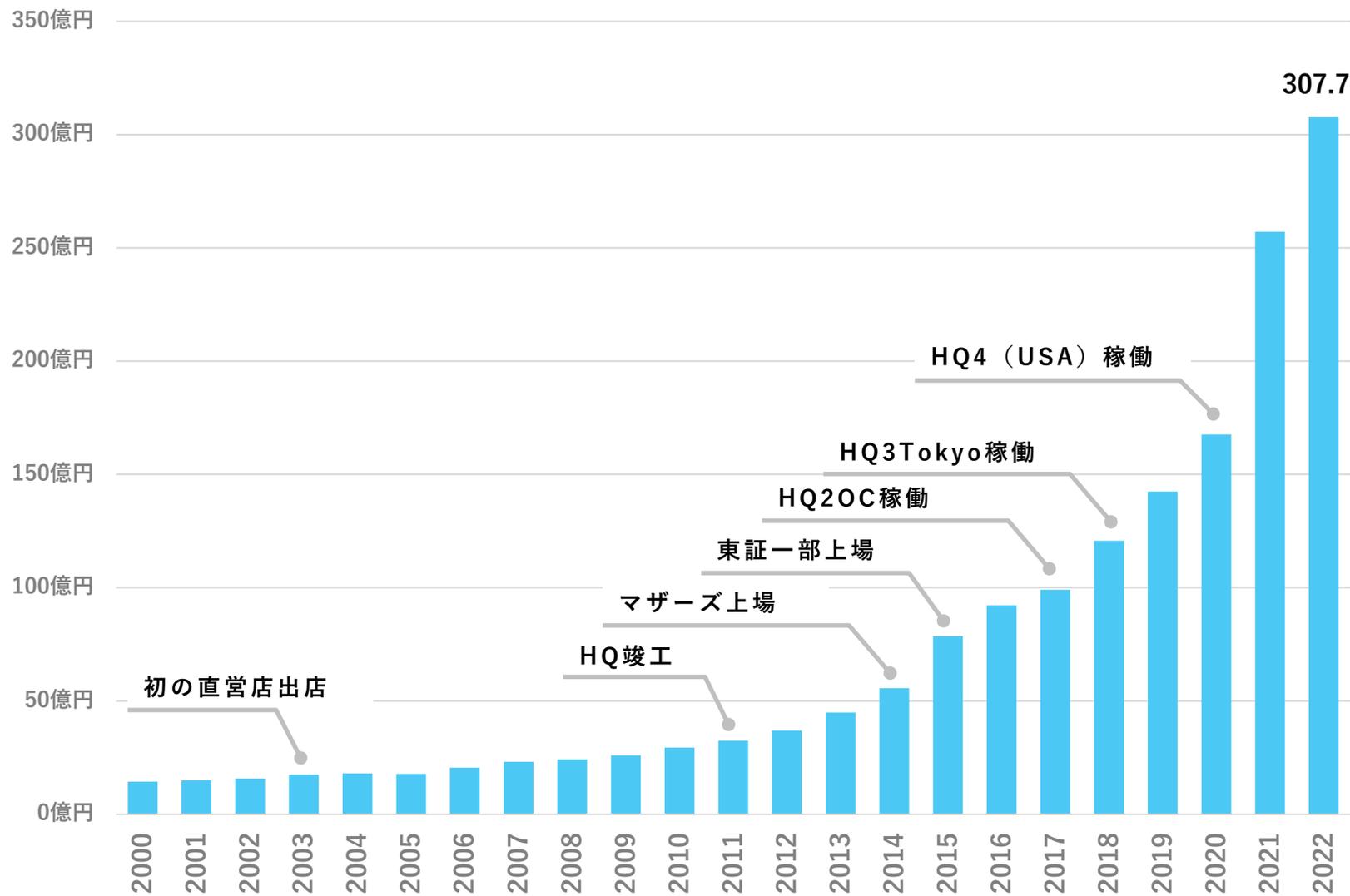
「野遊び」を軸にライフバリューブランドを展開

About Snow Peak | キャンプフィールド運営

スタッフや製品がそろうフィールド拠点は
キャンプや野遊びの価値を伝えるリアルメディアとして機能



About Snow Peak | スノーピークの成長



2000年度以降

20年以上

成長基調を継続

2005年度より

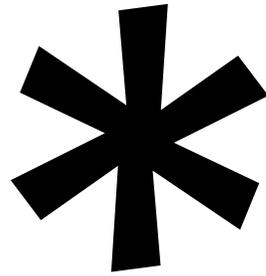
17期連続増収

本資料に関するご注意

本資料は、株式会社スノーピークの事業および業界動向に加えて、株式会社スノーピークによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまといます。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社スノーピークは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することは出来ず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料を開示した直近決算発表日時点現在において、利用可能な情報に基づいて、株式会社スノーピークによりなされたものであり、直近決算発表日時点現在にて想定していない出来事や状況を反映して、本資料における将来の展望に関する表明の記載を遡って更新し、変更するものではありません。



snow peak
outdoor lifestyle creator since 1958